

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (神石高原町立三和小学校)

- ① 教科等 算数科
- ② 学年 第4学年
- ③ 単元名 がい数とその計算
- ④ 本時の目標 目的に応じて、和や差を概数に表して概算することができる。
- ⑤ 学習の流れ (5時間目/全8時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 概数のよさについて復習する。	・概数にすると、数のだいたいの大きさがすぐわかることを想起させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・2通りの方法を考え、それを説明している。 〔数学的な考え方〕(ノート, 児童観察) ・千の位までの概数にして計算し、答えを求めることができる。 〔数量や図形についての技能〕(ノート)
2 本時の問題をつかむ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①デジタルカメラは34980円で、プリンターは20350円です。 ②この2つをかうと、代金は約何万何千円になるでしょう。 ③この2つの代金のちがいは、約何万何千円になるでしょう。 </div>	
3 課題を知る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> およその代金を出すには、どのように計算をすればいいだろう。 </div>	
4 ②を自力解決する。	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2通りの方法を考えさせる。 ・2通りの方法の違いを明確にさせるために、ノートにキーワードを書かせる。 「計算してから概数に」 「概数にしてから計算」 <p>表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百の位を四捨五入することを確認する。 ・互いの考えを交流させ、より簡単に答えを求める方法を見付けさせる。 ・イの方法が簡単であることに気付かせるとともに、なぜ、簡単なのか確認する。 </div>	
ア 計算してから、その答えを概数にする。 ・ $34980 + 20350 = 55330$ 約55000円		
イ 千の位までの概数にしてから計算する。 ・ $34980 + 20350$ ↓ ↓ $35000 + 20000 = 55000$ 約55000円		
5 考えを交流する。		
○「百の位を四捨五入して概数にする」という文を使って説明する。 ○アとイの方法を比較して、どちらの方法がより簡単に答えが求められるか考える。		
6 5の考えを活用して③をする。		
7 「和」「差」「概算」の用語を知る。	<p>教</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「たし算の答えを和、ひき算の答えを差、概数の計算を概算という」ことを教える。 	
8 本時のまとめをする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> それぞれの数を求めようとする位までの概数にしてから計算するとよい。 </div>	
9 練習問題をする。		
10 振り返りを書く。	・学習した内容について、振り返りをさせる。	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 概数についての計算の仕方を考え、「四捨五入」、「概数」の用語を使って、その方法とよさを説明することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 一人一人に自分の考えをもたせたり、表現させたり、考えを深めさせたりするために、「問題を読む・考えを書く・自分の考えを話す・友達のことを聞く活動」を1時間の学習に取り入れる。
- ノートに書いたキーワードを使って説明させる。